

## 第 70 回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール東京都大会 金賞

富士見丘高等学校 2 年

川原 珠蒔

### 課題①

本年は SDGs の中間年。あなたが、ユースリーダーとして SDGs 達成に向けた若者の取組を提案するとしたら、どのような提案をするか。

### 副題

すべての人に心の居場所を

「過去や誰かを責めたりはしない、ただ私が内側では苦しんでいて外側では笑っていたことを分かって欲しい」。私はこの言葉を決して忘れません。

今年の春、私はイギリスへ留学し、過去にうつ病に苦しんだ女の子に出会いました。先ほどの言葉は彼女の言葉です。これを聞いた瞬間、私は若者に忍び寄る精神疾患の重大さに気づきました。

WHO (世界保健機構) によれば、世界では、10~19 歳の 7 人に 1 人が精神疾患を経験しており、この年齢層だけでも全体の疾患患者の 13% を占めています。イギリスで公的医療を担う国民医療サービスでデジタル分野を担う NHS Digital が若者を対象に行った「子供と若者の精神的健康に関する調査」によれば、7~16 歳で精神疾患を経験した割合は 2017 年には 9 人に 1 人だったのに対し、2022 年には 6 人に 1 人と増加しています。さらに、17 歳~19 歳(「17~19 歳」でも)では 2017 年には 10 人に 1 人だったのに対し、2022 年には 4 人 1 人と 2 倍以上の増加を見せています。思春期は私たち若者が社会的、精神的に影響を受けやすい時期です。このような時期に私たちは情報化社会、パンデミック、気候変動、さらには戦争を経験するという精神的に不安、恐怖の絶えない激動の社会を生きています。だからこそ、この時期に疾患に適切な対処をしなければ、精神及び身体的健康は損なわれ、その影響は成人期にまで及びかねません。しかし、残念ながら若者の精神疾患はほとんどが認識されておらず未治療のままが大多数を占めています。ミシガン大学の「MICHIGAN MEDICINE」による報告書によれば、アメリカで疾患患者の疑いがある半数以上が治療を受けていないと推測されています。また、州によって治療内容の差が著しく、カウンセリングを受けたことがない若者が 3 分の 2 を占める州もあります。そうです、認識不足、医療格差が若者を治療から遠ざけているのです。この問題は、私たちが解決すべき SDGs 目標 3「すべての人に健康と福祉を」に反しています。この SDGs 目標 3 を達成させるため、すべての若者が理解され、十分な治療を受けられる、そのような社会を作るために、私は行動したいと考えています。

そこで私は、社会の一若者である私ができることとして国連に「HOME OF HEARTS 心の居場所」プロジェクトの提案したいと思います。このプロジェクトは若者の精神疾患への広い理解、十分な医療の提供という 2 つの目的から構成されています。1993 年にアメリカで始まったシルバリーボン運動にヒントを得ながら、若者の精神疾患への理解を深め、偏見を取り除き、若者が安心して

暮らせる社会の確立に向けて国連の加盟国の学校でのメンタルヘルス教育の義務化を目指します。

また、充実した治療の普及においては、「HOME OF HEARTS BUS」の導入を提案します。国連で養成された専門医、カウンセラーを世界各地へ派遣し複数人でバスに乗車します。そして、医療が十分に行き届いていない現地へ出向き、現地の若者にカウンセリング、メンタルヘルス教育及び治療を行います。バスを利用する理由として、戦時下、難民キャンプなどでは医療施設を建設しても破壊されたり、若者が一定の居住地を持たない、あるいはすぐに変えてしまうということが多々あるからです。また、途上国や僻地では国の経済面やアクセスの問題で、医療施設の建設に莫大な時間がかかってしまいます。専門医が乗車したバスであれば、目的地に迅速かつ効率的に医療を届けることができるので、各地の医療格差は徐々に縮まり、より多くの若者が治療を受けられ、認識できるのではないのでしょうか。自分の心の居場所を提供してくれる場所がやってくる、その期待感によって若者の心の負担は軽くなります。より多くの人に心の居場所を提供する、だから「HOME OF HEARTS 心の居場所」プロジェクトです。

大切な友達を助けるべく始まった私のこの主張は精神疾患に苦しむ若者が理解され、十分な治療を受けられるようになるまで終わりません。心の健康、この見逃されがちな問題を解決することはこれからを担っていく若者一人一人の人生を変え、彼らの活躍が今後の未来をより明るいものにしていくことでしょう。国の未来を担う若者を誰一人取り残さず、理解され、心の居場所を持てる、そのような社会になることを私は強く願っています。